

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

貯蔵品 …… 個別法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

建物附属設備、構築物、備品及び車輛

…………… 定率法による減価償却を実施している。

(3) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

(4) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金及び借入金を除く短期金銭債権債務等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	25,055	332,972
未収入金	0	8,533,988
前払費用	0	253,000
貯蔵品	0	82,254
合計	25,055	9,202,214
未払金	0	6,453,155
預り金	0	74,500
未払法人税等	0	70,000
合計	0	6,597,655
次期繰越収支差額	25,055	2,604,559

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,970,984	239,160	1,731,824
備品	3,448,118	2,962,243	485,875
車両運搬具	599,130	278,010	321,120
一括償却資産	2,437,874	812,624	1,625,250
合計	8,456,106	4,292,037	4,164,069

4. 当期正味財産増加額の内訳は、次のとおりです。

当期収支差額	2,579,504 円
建物附属設備購入額	1,970,984 円
車両運搬具購入額	599,130 円
器具備品購入額	5,885,992 円
敷金増加額	2,010,000 円
預託金増加額	20,870 円
借入金返済額	3,085,557 円
減価償却額	△ 4,292,037 円
借入金増加額	△ 10,840,000 円
当期正味財産増加額	<u>1,020,000 円</u>

4. 保証債務、担保提供資産はありません。